

# 新型コロナウイルス感染症対策

- これまでに確立した検査・医療提供体制を引き続き確保
- オミクロン株の感染急拡大を踏まえ体制を拡充

## 医療提供体制

|           |  |
|-----------|--|
| 医療機関      | 専用病床を最大487床確保  |
| 宿泊療養      | 現在：2棟560床 ⇒ 4月～：2棟630床（+70床）<br>オミクロン株への対応 2月中旬～3月：緊急・臨時的に3棟 約1,000床 |
| 自宅療養      | オミクロン株への対応 看護師による健康観察を10名体制に拡充し対応（看護協会連携）                            |
| メディカルチェック | 県下全域でメディカルチェックを実施できる体制を確保（25医療機関）<br>⇒重症化リスクの早期把握、早期治療により病床負荷を軽減     |

## 検査体制

|       |  |
|-------|--|
| 検査    | 県内全域の約400の医療機関で検査可能                    |
| 戦略的検査 | オミクロン株への対応 病院、高齢者・障害者施設の一斉検査を実施（1/27～） |
| 無料検査  | オミクロン株への対応 県内全域の約180の薬局で検査可能（2月末まで延長）  |

1月27日～2月20日 「まん延防止等重点措置」

時短要請協力金の支給